



金融庁では、当庁施策の紹介や説明を含め、その活動状況等について、各種刊行物等への執筆を行っており、ウェブサイト上で公表しています。本稿でもその一部について掲載いたします。

～最近掲載された寄稿等のご紹介～

◆ [香港・米国・日本のステーブルコイン規制](#)

総合政策局 総務課 国際室 国際企画調整官 牛田 遼介
総合政策局 リスク分析総括課 イノベーション推進室 課長補佐 柳瀬 将
(証券アナリストジャーナル 2月1日号)

◆ [諸課題を浮き彫りにした暗号資産規制に関するF S Bの検証結果](#)

日本銀行 金融機構局 国際課 主査 渡辺 飛鳥
総合政策局 総務課 国際室 国際企画調整官 牛田 遼介
(週刊金融財政事情 1月13日号)

◆ [ディスクロージャー・企業会計を巡る最近の動向](#)

企画市場局 企業開示課長 小長谷 章人
(週刊経営財務 1月5日号)

◆ [コーポレートガバナンス改革に関する金融庁の近時の取組み〔3・完〕](#)

企画市場局 企業開示課 課長補佐 新谷 亜紀子、課長補佐 廣島 直樹
(商事法務 No.2404 10月25日号)

◆ [金融機関における粉飾等予兆管理態勢の高度化に向けて](#)

総合政策局 リスク分析総括課 リスク管理検査室長 小笠原 規人、
信用リスク管理チーム長 中山 龍王、課長補佐 小澤 学
(季刊 事業再生と債権管理 190号 10月5日号)

👉 その他の寄稿等についても、[金融研究センターウェブサイト](#)を是非ご覧ください。

編集後記

アクセスFSAをご覧頂きありがとうございます。今月号は、金融審議会での審議内容や令和8年度税制改正などの政策動向についてご紹介しています。また、連載企画「金融庁職員が語る！金融行政の実務」の監督・モニタリング部門編は今月号が最終回となりますが、同企画は今後も主要トピックを取り上げていく予定です。是非お読みください。

さて、今月は、ミラノ・コルティナ冬季五輪が開催され、日本選手の活躍を日々ご覧になっていた方も多いと思います。時差の関係もあって、私はリアルタイムでの視聴は中々叶いませんでしたが、毎朝、ニュースで結果をチェックするのが日課になっていました。イタリアでの冬季五輪の開催といえば、フィギュアスケート女子・荒川静香選手が金メダルを獲得した2006年トリノ大会以来20年ぶりですが、コルティナでの開催は1956年大会以来70年ぶりでした。そして、その前回コルティナ五輪では、冬季五輪で日本人として初めて、スキー男子回転・猪谷千春選手がメダル（銀）を獲得しました。今大会の日本代表は、冬季五輪で過去最高のメダル獲得数を記録しており、毎朝ニュースを見るたびに、とても勇気づけられました。

(参考) ミラノ・コルティナ冬季五輪ウェブサイト：冬季オリンピック 日本代表メダル獲得数一覧<オリンピックメダル記録>

<https://www.olympics.com/ja/milano-cortina-2026/news/list-of-team-japan-winter-olympic-medal-counts-by-games>

金融庁広報室長 久米 均

編集・発行：金融庁広報室

(※本稿において意見に係る部分は筆者の個人的見解であり、所属組織の見解を示すものではありません。)